

# 環境経営レポート



ASAI  
Wood Materia



®環境省

エコアクション21

認証・登録番号 0012737

アサイウッドマテリア株式会社

対象期間:2021年7月～2022年6月

# ～目次～

1. 組織の概要.....	1
2. 経営理念.....	2
3. 環境・品質方針 .....	3
4. 環境経営対象組織図.....	4
5. 環境経営の役割・責任・権限.....	5
6. SDG s への自社の取り組み.....	6
7. 環境経営目標.....	6
8. 環境経営目標及びその実績（2020年7月～2021年6月） .....	7
9. 環境経営計画及び取り組み結果とその評価.....	8
10. 環境関連法規等の遵守及び評価の結果.....	9
11. 代表者による全体の評価と見直し.....	10

# 1. 組織の概要

名称及び代表者 アサイウッドマテリア株式会社 代表取締役 浅井勇詞  
ホームページ 合板市場 <http://gouhan.shop/>

## 所在地

【本社・本社工場】 〒490-1428 愛知県弥富市竹田三丁目228番地 ☎0567-52-2101  
【弥富工場】 〒498-0066 愛知県弥富市楠二丁目7番地 ☎0567-68-1510

創立年 1920年

## 環境管理責任者及び担当者連絡先

【環境管理責任者】 管理部 佐野 孝子 ☎0567-52-2101  
【環境管理担当者】 管理部 有馬 翔子 ☎0567-52-2101

## 事業内容

合板卸、造作材製造及び加工

## 事業の規模（令和3年6月現在）

【資本金】 9,000万円

【売上高】 118,630万円

規模	本社事務所	本社工場	弥富工場（事務所含む）	合計
従業員数	8名	19名（社内外注含む）	14名	41名
延べ床面積	406㎡	9480.403㎡	3980.025㎡	13866.428㎡

事業年度 7月1日～6月30日

## 対象範囲

対象組織・・・本社・本社工場、弥富工場

対象活動・・・事業内容と同じ

レポートの対象期間・・・ 2021年7月1日～2022年6月30日

発行日・・・2022年11月20日

## 2. 経営理念

私たちは、環境との調和を保ちつつ、木を中心とした商品・サービスの展開を通して、社会の維持発展と人々の幸せに貢献していきます。



### 経営理念の解説

1. 事業領域を、合板から「木」に関すること全般に広げていきます。取り扱う商品やサービスの幅を広げることで、さらに社会のお役に立てる会社をめざしていきます。
2. 天然資源を扱う事業者として、事業活動が社会や環境にとって大きな負荷にならないよう心掛け、産業廃棄物の削減や省エネルギーに取り組めます。
3. 豊かな暮らしを実現するために、会社の経営資源である、人材・設備・技術のすべてにおいて更なる向上を目指します。
4. 少子高齢化、地方の過疎化、自然災害等の多発など、現在の日本はさまざまな問題を抱えています。日々の事業活動を通して、従業員の人的成長を図ることで、「社会」の問題解決、更には「維持発展」に貢献できる人材を育成します。
5. 「人々」には、直接のお客様はもちろんの事、最終消費者、仕入先、木材生産者、会社の存在する地域社会（弥富市）の住民、そして当社で働く従業員とそのその家族を含みます。



## 3. 環境・品質方針

当社は、環境問題への対応が事業継続に置いて最重要であるとの認識のもと、製造業の要である品質改善と不離一体の活動として進める必要があると考え、方針として掲げ、関連する各部門で目標を設定し推進します。

### 環境方針

- 地域企業として、環境に配慮したモノづくりを行います。
  - ・ 使用する材料を、より環境負荷の少ないものにする。
  - ・ 事業所の周辺環境への悪影響を最低限にする。
- 環境関連の法規制を遵守します。
- 環境マネジメントシステム（EMS）の運用を通じて、持続的に排出物の削減と省エネに取り組みます。
- 環境に関する社員教育を実施し、一人ひとりの様々なアイデアにより環境影響リスク低減に努めます。
- 社員の健康促進に配慮します。
- 毎年の環境目標と実績について、広く情報開示をします。

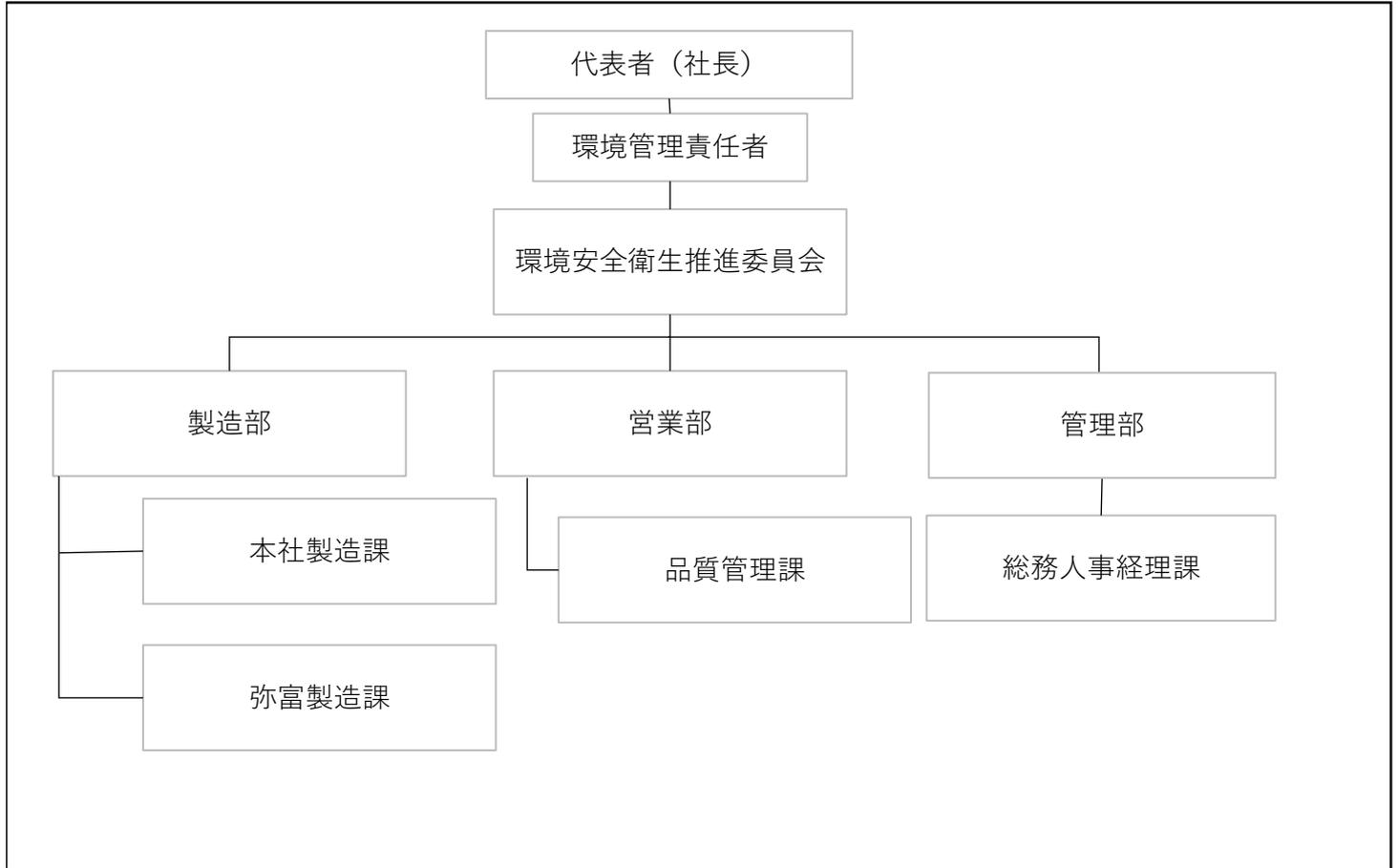
### 品質方針

- 品質第一を徹底し、お客様に信頼されるモノづくりを行います。
- 関連する法規制を遵守し、安全な商品を作ります。
- 材料のトレーサビリティを確実にいき、安心な商品を提供します。
- 品質マネジメントシステム（QMS）の運用を通じて、品質追及の努力を続けていきます。
- 品質に関する社員教育を実施し、問題解決能力の向上を図ります。

制定日 2022年6月30日

アサイウッドマテリア株式会社  
代表取締役 浅井 勇詞

## 4. 環境経営対象組織図



## 5. 環境経営の役割・責任・権限

代表者（社長）	環境方針の策定 環境経営システムの実施に必要な人、設備、費用を準備 環境管理責任者を任命 環境経営システム全体の評価と見直し 環境活動レポートの承認
環境管理責任者	環境経営システムの構築・実施・管理 環境目標・環境活動計画書を確認 環境活動の取り組み結果を代表者へ報告
環境事務局 (環境・安全推進 委員会)	環境管理責任者の補佐 環境活動の実績集計、評価、及びレポートの作成 環境関連法規等取りまとめ表に基づく遵守評価の実施 環境関連活動の外部コミュニケーションの窓口 環境関連の問題点の発見、是正、予防処置の実施
全従業員	環境方針の理解と、環境への取り組みの重要性を自覚 決められたことを守り、自主的・積極的に環境活動へ参加

## 6. SDGsへの自社の取り組み

### ①ベトナム人研修生・技術者の育成



ベトナム人の技能実習生の受け入れ、技術者の雇用を行っています。

家具製作のための技術指導を月1~2回開催しています。また、終業後や休日は会議室を開放し、自主学習の機会を設けています。

### ②従業員の健康促進

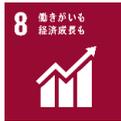


年に一度、全従業員に健康診断を受診していただきます。管理部が医師の指示を仰ぎ、生活指導を行っています。

工場内の喫煙所を1箇所にまとめ、利用者が清掃を行うようにしました。

熱中症対策に、塩飴の配布を行っています。

### ③ 5s活動で効率アップ



事務所備品置き場



工場内書類置き場

毎日20分5S活動を行いました。「定品・定位・定量」の3定を行うことで在庫の見える化に繋がり余分な発注を減らすことができるようになりました。

またモノを探す時間が減ったため、作業効率アップが見込めます。

### ④ FSC認証製品で環境保護に貢献



封筒などの紙製品を購入する際はFSC認証マークの有無を確認し購入するようにしています。

それだけでなく、自社製品の合板もFSC認証を受けたものを使用しており、自社もFSC-CoC認証を受けています。

経営理念の通り、木材を通じて社会の維持発展に貢献できる取り組みであると考えております。

## ⑤ ゴミの分別



ゴミの分別を図で表示するようにしたことで、入れ間違えが減り、仕分けで迷うことが少なくなりました。また「ストレッチフィルム」を確実に分別するようになったため、リサイクルが可能となりました。

## ⑥ 毎日省エネ活動



部分消灯



ハイブリッドカー



裏紙利用

日常的に行うことができる省エネ活動を続けています。事務所で不在の席や、来客がない日の玄関の消灯を行います。A4の裏紙を再利用したり、両面印刷や2in1での印刷を心がけ紙の無駄遣いを減らします。

営業車はすべてハイブリッドカーに変更しました。さらに車内にエコドライブ推進ステッカー等を設置しより環境に配慮できるよう意識することができました。

## ⑦経営指針発表会

4 質の高い教育を  
みんなに



8 働きがいも  
経済成長も



16 平和と公正を  
すべての人に



17 パートナシップで  
目標を達成しよう



毎年6月に「経営指針発表会」を開催し、前期の振り返り、来期の目標などを各部門で発表します。  
また、全社での勉強会、優秀社員の表彰なども行います。

## 7. 環境経営目標

項目		年度	基準年度	3年間の目標			
			2017年4月－ 2018年3月	2021年度 ▲4%	2022年度 ▲5%	2023年度 ▲6%	
二酸化炭素排出量	電気使用量削減 (kwh)	目標		1,084,618.56	1,073,320.45	1,062,022.34	
		実績	1,129,811.00	1,150,053.00	1,232,006.00		
	ガソリン使用量削減 (ℓ)	目標		5,976.95	5,914.69	5,852.43	
		実績	6,225.99	3,517.13	3,168.96		
	軽油使用量削減 (ℓ)	目標		7,857.31	7,775.47		
		実績	8,184.70	183.00	※使用量0のため 2022年度より削除		
	灯油使用量削減 (ℓ)	目標		1,647.36	1,630.20	1,613.04	
		実績	1,716.00	1,307.00	1,487.00		
	液化石油ガス (LPG) (kg)	目標		7.08	7.01	6.94	
		実績	7.38	6.30	11.30		
	Co2排出量合計 (kg-CO2)	目標		558,840.63	553,019.38	547,198.12	
		実績	582,125.66	404,594.45	457,983.25		
	廃棄物排出量	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	目標		534,156.48	528,592.35	523,028.22
			実績	556,413.00	165,934.00	193,723.00	
産業廃棄物 排出量削減 (kg)		目標		20,486.40	20,273.00	20,059.60	
		実績	21,340.00	43,672.00	27,630.00		
水使用量	水使用量削減(m <sup>3</sup> ) 上段 上水 下段 地下水	目標		2,704.32	2,676.15	2,647.98	
				5,006.40	4,954.25	4,902.10	
		実績	2,817.00	1,588.00	1,393.00		
			5,215.00	5,721.00	6,475.00		
環境配慮促進		-	-	コロナ対策 徹底	水回りの整備	水回りの整備	
売上高 (円) (目標毎年1.5%UP)	目標	1,386,454,244	1,200,000,000	1,265,600,000	1,670,000,000		
	実績	1,338,921,061	1,186,300.00				

規模	本社事務所	本社工場	弥富工場（事務所含む）	合計
従業員数	8名	19名（社内外注含む）	14名	41名
延べ床面積	406㎡	9480.403㎡	3980.025㎡	13866.428㎡

項目			年度		3年間の目標		
			基準年度	2021年度	2022年度	2023年度	
			2017年4月－ 2018年3月	▲4%	▲5%	▲6%	
二酸化炭素排出量	電気使用量削減 (kwh)	目標		1,084,618.56	1,073,320.45	1,062,022.34	
		実績	1,129,811.00	1,150,053.00	1,232,006.00		
	ガソリン使用量削減 (ℓ)	目標		5,976.95	5,914.69	5,852.43	
		実績	6,225.99	3,517.13	3,168.96		
	軽油使用量削減 (ℓ)	目標		7,857.31	7,775.47		
		実績	8,184.70	183.00	※使用量0のため 2022年度より削除		
	灯油使用量削減 (ℓ)	目標		1,647.36	1,630.20	1,613.04	
		実績	1,716.00	1,307.00	1,487.00		
	液化石油ガス (LPG) (kg)	目標		7.08	7.01	6.94	
		実績	7.38	6.30	11.30		
Co2排出量合計 (kg-CO2)	目標		558,840.63	553,019.38	547,198.12		
	実績	582,125.66	404,594.45	457,983.25			
廃棄物排出量	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	目標		534,156.48	528,592.35	523,028.22	
		実績	556,413.00	165,934.00	193,723.00		
	産業廃棄物 排出量削減 (kg)	目標		20,486.40	20,273.00	20,059.60	
		実績	21,340.00	43,672.00	27,630.00		
水使用量	水使用量削減(m <sup>3</sup> ) 上段 上水 下段 地下水	目標		2,704.32	2,676.15	2,647.98	
				5,006.40	4,954.25	4,902.10	
		実績	2,817.00	1,588.00	1,393.00		
			5,215.00	5,721.00	6,475.00		
環境配慮促進		-	-	コロナ対策 徹底	水回りの整備	水回りの整備	
売上高 (円) (目標毎年1.5%UP)		目標	1,386,454,244	1,200,000,000	1,265,600,000	1,670,000,000	
		実績	1,338,921,061	1,186,300.00			

## 8. 環境経営目標及びその実績（2021年7月～2022年6月）

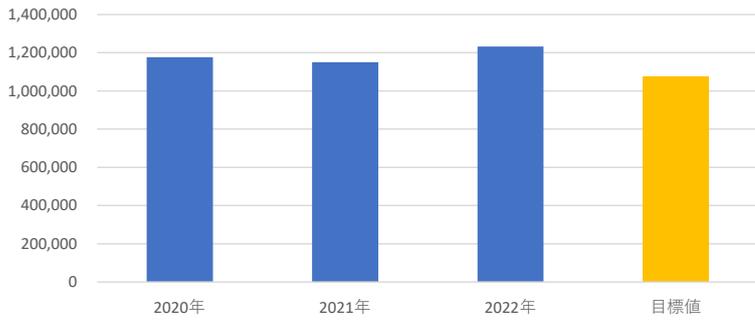
目標値比 100%以下：○、101～105%：△、106%以上：× ※売上高除く

項目	年度		基準年度	2022年度	目標 数値 比	評 価	2023年度
			2017年4月～ 2018年3月	2021年7月～ 2022年6月			目標
二酸化炭素排出量	電力使用量削減 (kwh)	目標値		1,073,320.45			1,062,022.34
		実績	1,129,811.00	1,232,006.00	115%	×	
	ガソリン使用量削減 (l)	目標値		5,914.69			5,852.43
		実績	6,225.99	3,168.96	54%	○	
	軽油使用量削減 (l)	目標値		7,775.47			7,693.62
		実績	8,184.70	0.00	0%		2022年度削除
	灯油使用量削減 (l)	目標値		1,630.20			1,613.04
		実績	1,716.00	1,487.00	91%	○	
	液化石油ガス (LPG) 削減 (kg)	目標値		7.01			6.94
		実績	7.38	11.30	161%	×	
Co2排出量合計 (kg-Co2)	目標値		553,019.38			547,198.12	
	実績	582,125.66	457,983.25	83%	○		
廃棄物排出量	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	目標値		528,592.35			523,028.22
		実績	556,413.00	193,723.00	37%	○	
	産業廃棄物 排出量削減 (kg)	目標値		20,273.00			20,059.60
		実績	21,340.00	27,630.00	136%	×	
水使用量	水使用量削減 上段 上水	目標値		2,676.15			2,647.98
				4,954.25			4,902.10
	下段 地下水 (平方m)	実績	2,817.00	1,393.00	52%	○	
			5,215.00	6,475.00	131%	×	
環境配慮促進				水回りの整備			水回りの整備
売上高 (千円) (目標毎年1.5%UP)	目標値	1,386,454,244	1,265,600,000			1,670,000,000	
	実績	1,338,921,061		0%			

電力排出計数は、関西電力2020年度排出計数 (0.340kg-CO2)

中部電力2020年度排出計数 (0.431kg-CO2) 使用

電力使用量削減 (Kwh)

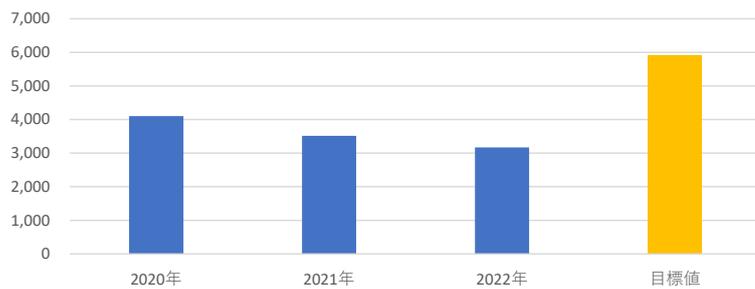


【総評】

目標値まで届かなかったものの、  
昨年より電力使用を削減することができた。  
三年間横ばいの結果となっているため、  
こまめな電力節約を心がける。

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
電力使用量削減	Kwh	1,177,292.00	1,150,053.00	1,232,006.00	1,073,320.45

ガソリン使用量削減 (l)

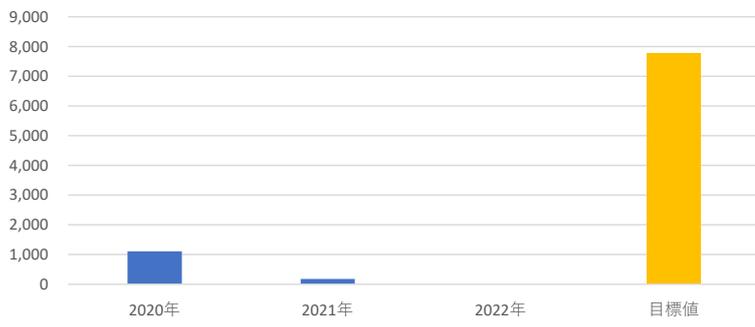


【総評】

大幅な削減に成功。  
感染症拡大による営業車利用の減少、及び昨年営業  
車をすべてエコカーに変更したことによる使用量の  
削減の結果である。  
来年の結果によっては目標値の修正を行う。

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
ガソリン使用量削減	l	4,099.20	3,517.13	3,168.96	5,914.69

軽油使用量削減 (l)

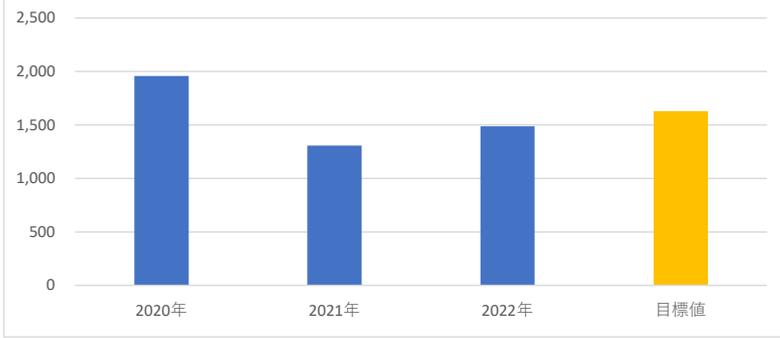


【総評】

軽油を動力とするフォークリフトが0になったためである。  
来年以降は削除とする。

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
軽油使用量削減	l	1,109.00	183.00	0.00	7,775.47

灯油使用量削減 (l)

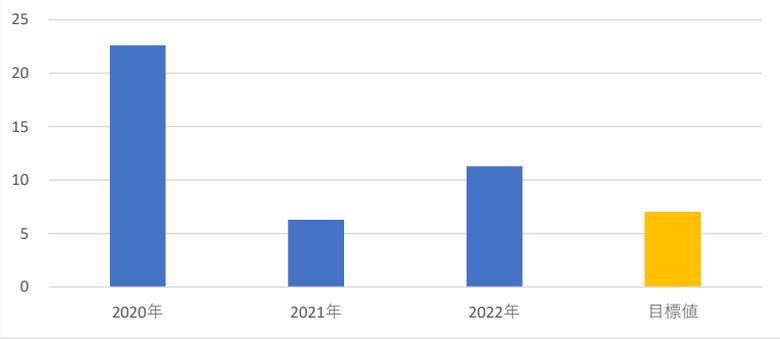


【総評】

目標達成。  
工場のストーブと会社寮の給湯に使用。  
来年以降も数値の維持を目指す。

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
灯油使用量削減	l	1959.00	1307.00	1487.00	1630.2

液化石油ガス (LPG(kg))

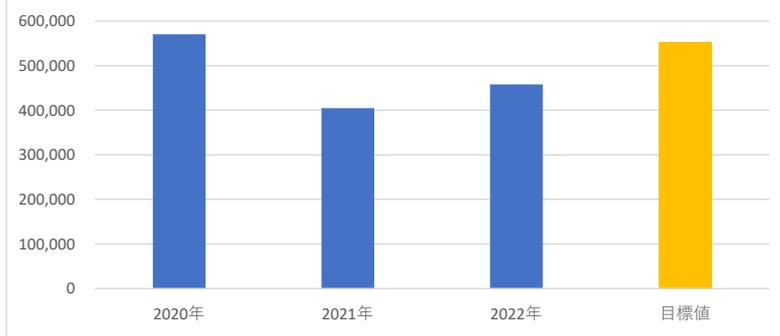


【総評】

目標達成。  
会社寮のガスコンロに使用。  
子会社とガスの使用量を分けたため、大幅削減となった。来年以降の数値次第で目標値の見直しを行う。

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
液化石油ガス	LPG(kg)	22.60	6.30	11.30	7.01

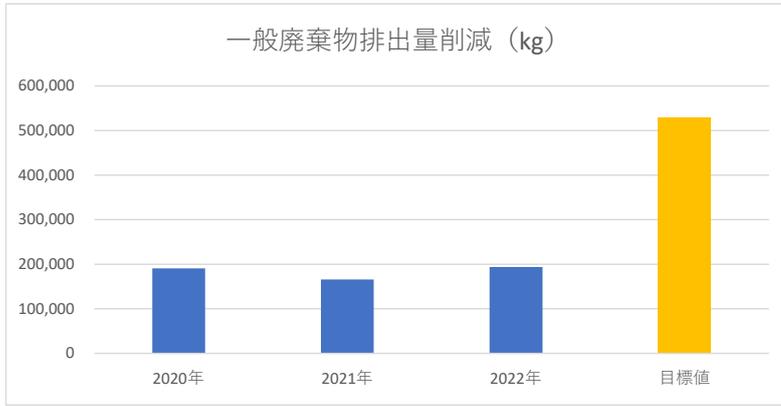
Co2 排出量合計 (Kg-Co2)



【総評】

各電力会社のCo2排出係数を調べ直し、2018年のデータから2020年のデータに切り替えたところ大幅に数値が下がった。  
来年以降は数値が妥当なものであるか確認を行う。  
Co2排出量は上記の項目すべてが関わるため、来年以降は特に目標値の達成を目指す。

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
Co2 排出量合計	Kg-Co2	570,483.15	404,594.45	457,983.25	553,019.38



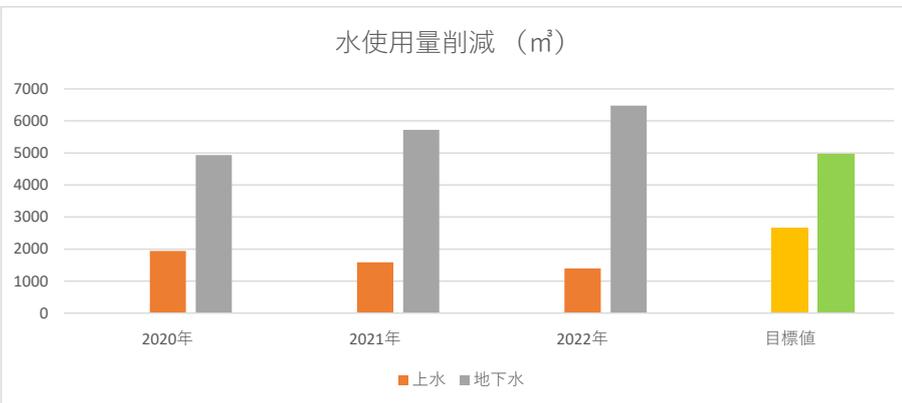
**【総評】**  
 ボイラーの面積を減らしたことにより、稼働時間が大幅に減少した結果となった。  
 来年以降の目標値の見直しを行う。

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
一般廃棄物排出量削減	kg	190,622.00	165,934.00	193,723.00	528,592.35



**【総評】**  
 7月より5S活動を全社で行った結果、不要物を大量に処分することとなったため目標未達成かつ昨年より増加してしまった。また不良率増加による燃え殻増加も一因となる。  
 来年以降は、日々の業務での排出量に注意して目標値を目指す。

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
産業廃棄物排出量削減	kg	30,386.00	43,672.00	27,630.00	20,273.00



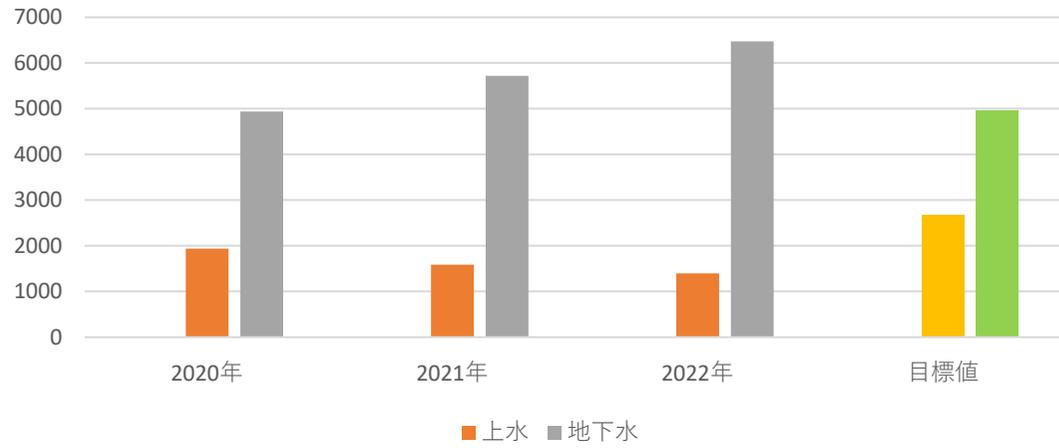
**【総評】**  
 上水は目標達成。節水への心掛けが定着したと考えられる。  
 地下水は主にボイラーでの焼却の際に使用されている。1~6月はボイラー測定機器の故障により少ない数値になっている。10月より正常に戻った。

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
水使用量削減	m³				
上水		1,939.00	1,588.00	1,393.00	2,676.15
地下水		4,936.00	5,721.00	6,475.00	4,954.25

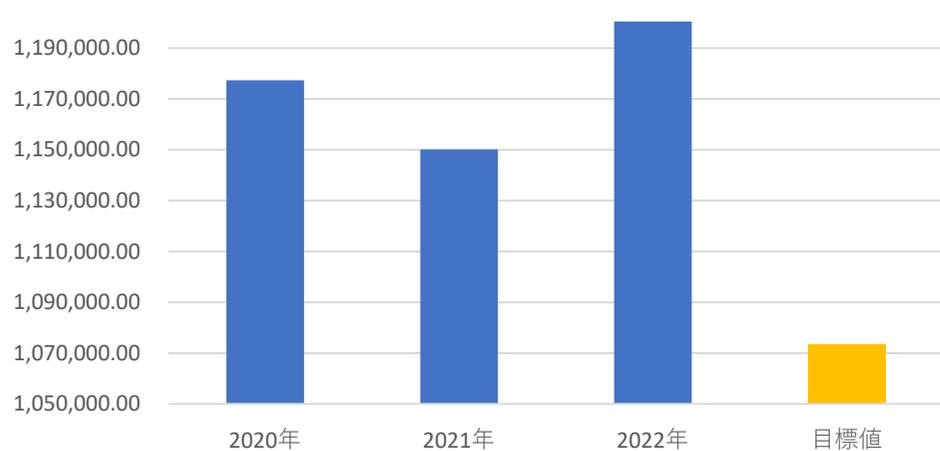
項目		年度		基準年度	2022年度	目標 数値 比	評 価	2023年度
				2017年4月～ 2018年3月	2021年7月～ 2022年6月			目標
二 酸 化 炭 素 排 出 量	電力使用量削減 (kwh)	目標値			1,073,320.45			1,062,022.34
		実績	1,129,811.00	1,232,006.00	115%	×		
	ガソリン使用量削減 (l)	目標値			5,914.69			5,852.43
		実績	6,225.99	3,168.96	54%	○		
	軽油使用量削減 (l)	目標値			7,775.47			7,693.62
		実績	8,184.70	0.00	0%			2022年度削除
	灯油使用量削減 (l)	目標値			1,630.20			1,613.04
		実績	1,716.00	1,487.00	91%	○		
	液化石油ガス (LPG) 削減 (kg)	目標値			7.01			6.94
		実績	7.38	11.30	161%	×		
Co2排出量合計 (kg-Co2)	目標値			553,019.38			547,198.12	
	実績	582,125.66	457,983.25	83%	○			
廃 棄 物 排 出 量	一般廃棄物 排出量削減 (kg)	目標値			528,592.35			523,028.22
		実績	556,413.00	193,723.00	37%	○		
	産業廃棄物 排出量削減 (kg)	目標値			20,273.00			20,059.60
		実績	21,340.00	27,630.00	136%	×		
水 使 用 量	水使用量削減 上段 上水 下段 地下水 (平方m)	目標値			2,676.15			2,647.98
					4,954.25			4,902.10
		実績	2,817.00	1,393.00	52%	○		
			5,215.00	6,475.00	131%	×		
環境配慮促進					水回りの整備			水回りの整備
売上高 (千円) (目標毎年1.5%UP)		目標値	1,386,454,244	1,265,600,000				1,670,000,000
		実績	1,338,921,061			0%		

項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
電力使用量削減	Kwh	1,177,292.00	1,150,053.00	1,232,006.00	1,073,320.45
項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
ガソリン使用量削減l		4,099.20	3,517.13	3,168.96	5,914.69
項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
軽油使用量削減	l	1,109.00	183.00	0.00	7,775.47
項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
灯油使用量削減	l	1,959.00	1,307.00	1,487.00	1,630.20
項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
液化石油ガス	LPG(kg)	22.60	6.30	11.30	7.01
項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
Co2 排出量合計	Kg-Co2	570,483.15	404,594.45	457,983.25	553,019.38
項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
一般廃棄物排出量削 kg		190,622.00	165,934.00	193,723.00	528,592.35
項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
産業廃棄物排出量削 kg		30,386.00	43,672.00	27,630.00	20,273.00
項目	単位	2020年	2021年	2022年	目標値
水使用量削減	m <sup>3</sup>				
上水		1,939.00	1,588.00	1,393.00	2,676.15
地下水		4,936.00	5,721.00	6,475.00	4,954.25

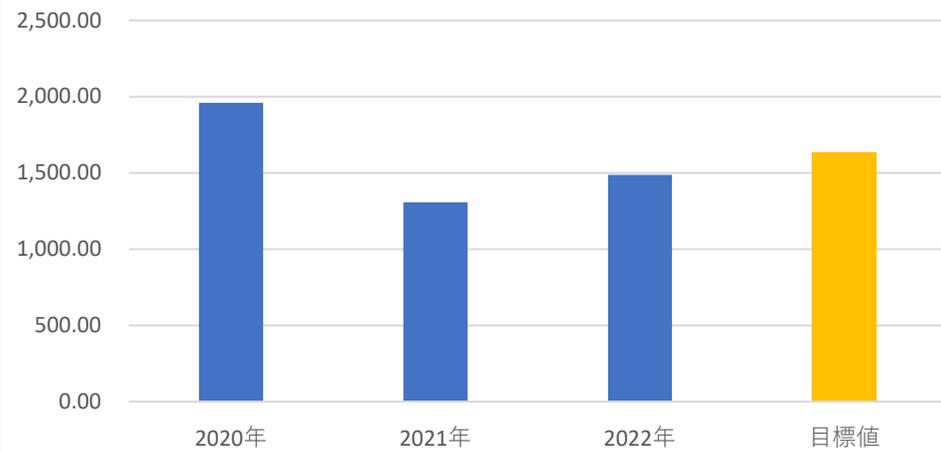
水使用量削減 (m<sup>3</sup>)



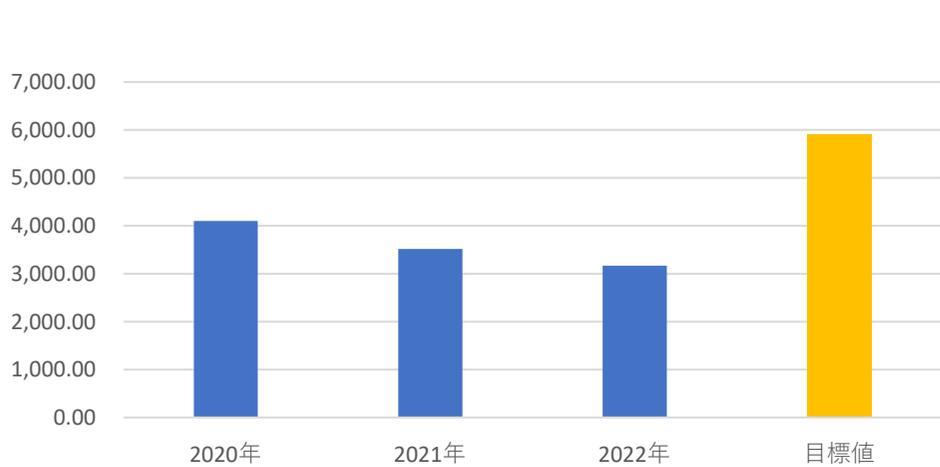
電力使用量削減 (kwh)



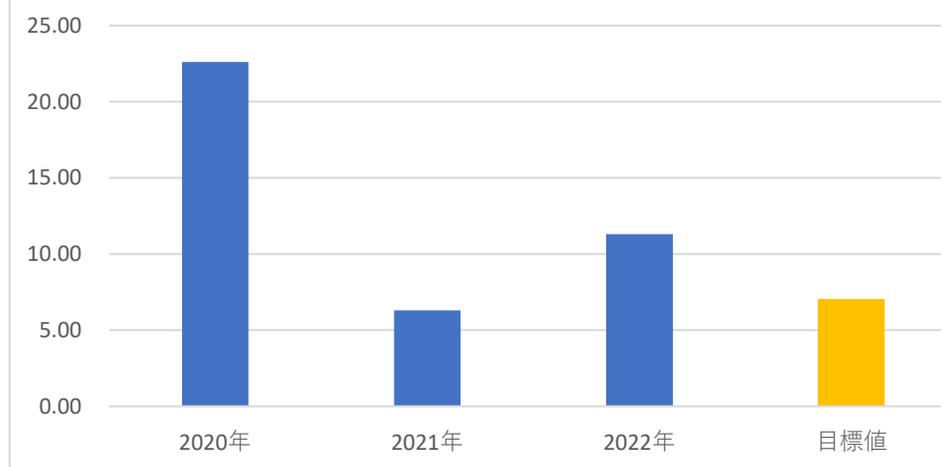
灯油使用量削減 (l)



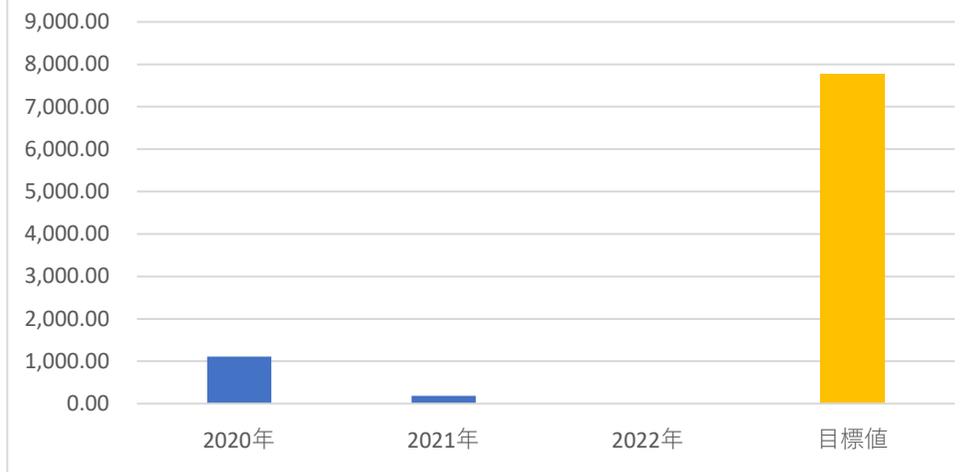
ガソリン使用量削減 (l)



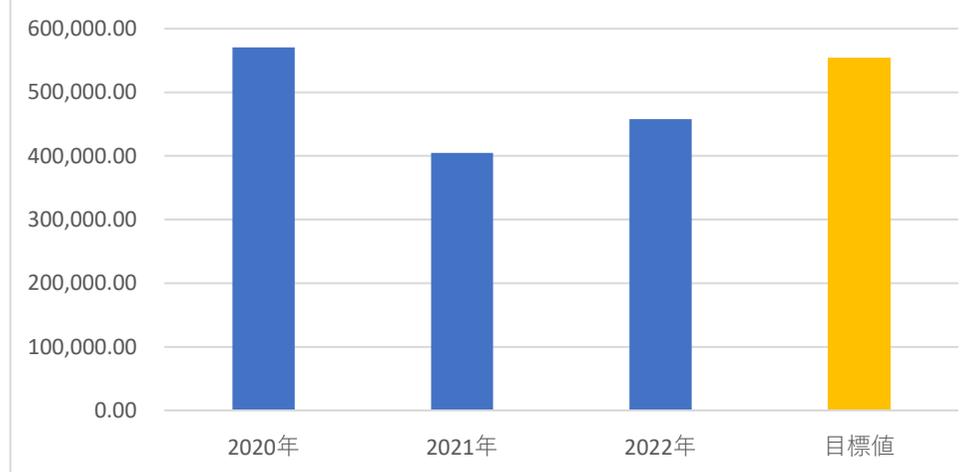
液化石油ガス (LPG(kg))



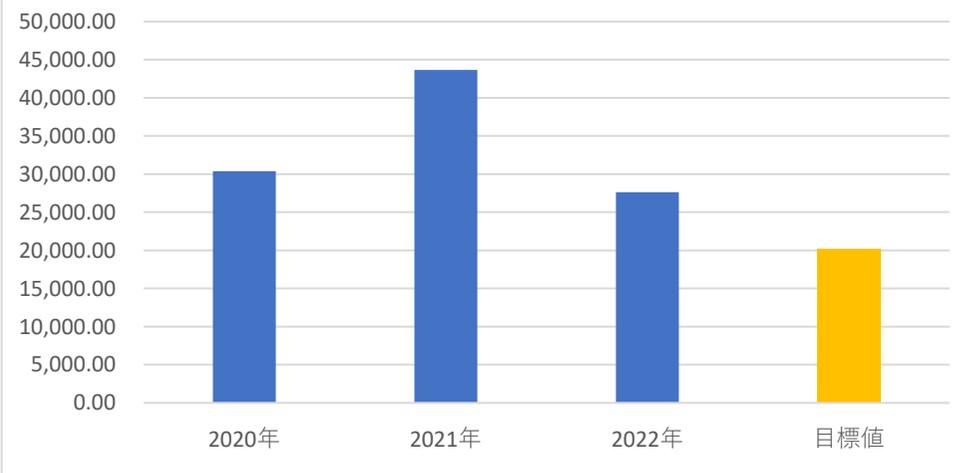
軽油使用量削減 (l)



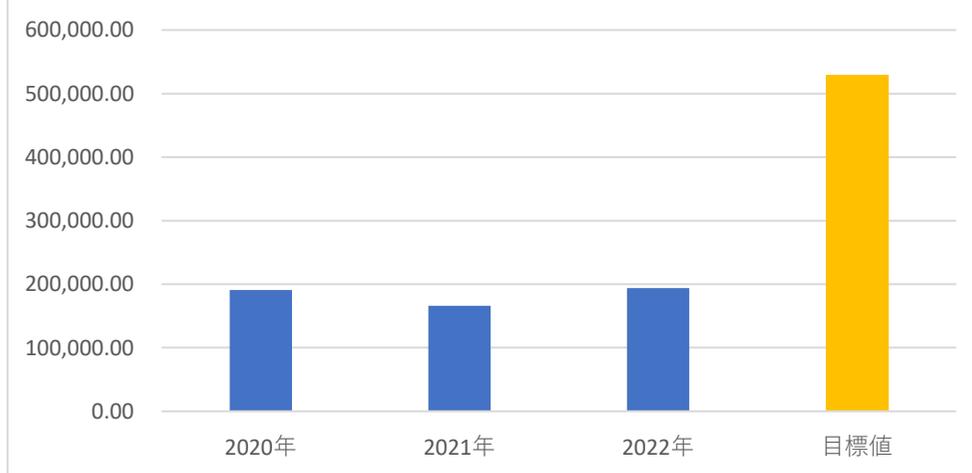
Co 2 排出量合計 (Kg-Co2)



産業廃棄物排出量削減 (kg)



一般廃棄物排出量削減 (kg)



## 9. 環境経営計画及び取り組み結果とその評価

◎よくできた ○まあまあできた △あまりできなかった ×全くできなかった

取り組み計画	関連部署	実施状況	評価結果及び次年度の取り組み内容
<b>二酸化炭素排出量の削減</b>			
<b>電気使用量の削減</b>			
・空調温度の適正化 (室温 冷房28℃ 暖房20℃)	管理部	◎	事務所内の節電の取り組みは定着しているように感じる。 工場内の使用量は受注量の増減により変化するが節電の意識を持つよう取り組む。
・不要照明の消灯	管理部	◎	
・生産工程の待機時間短縮	製造部	○	
・機械設備のメンテナンス	製造部	○	
・リフトの使用電力	製造部	○	
<b>ガソリン使用量の削減</b>			
・不要なアイドリングストップ	全社	◎	ガソリン使用量の減少はしているが、客先訪問が困難であった結果であるため来年以降の数値を確認し目標を設定する。
・エコドライブの実施	全社	◎	
・タイヤ空気圧・オイル等の点検	全社	◎	
軽油使用量の削減	製造部	○	使用量0のため来年以降削除
灯油・液化ガス使用量削減	製造部	◎	どちらも減少し目標達成
<b>廃棄物排出量の削減</b>			
<b>一般廃棄物の削減</b>			
・ミスコピーの防止	管理部	◎	不要用紙は裏紙として使用するよう事務所で取り組んでいる。
・裏紙使用	管理部	◎	
<b>産業廃棄物の削減（ボイラー燃えがらの削減）</b>			
・工程からの端材及び不良率の削減	製造部	×	秋ごろの不良発生により燃え殻が増加した。
<b>環境への配慮</b>			
<b>水道使用量の削減</b>			
・節水ポスターの掲示	全社	◎	社内で節水の意識が定着しているように感じる。
<b>認証品の購入</b>			
・住宅用基材は全てF☆☆☆☆※	製造部	○	事務用品はグリーン商品を購入するよう意識し、FSC認証は毎年滞りなく進めている。社内での周知も同時に進める。
・グリーン購入	管理部	○	
・FSC認証品購入	管理部	◎	
<b>内部コミュニケーション</b>			
・環境安全衛生推進委員会、部門会議の開催	全社	○	会議ルールを策定し、ただ会議を行っただけにならないよう社内への周知の方法を行えるようにした。
<b>外部コミュニケーション</b>			
・近隣からの苦情対応	管理部	◎	環境の関連で苦情はなかった。地域活動はコロナウイルス蔓延防止のため開催なし。次期より別の方法での地域貢献を検討したい。
・地域活動の実施	全社	×	

※F☆☆☆☆製品とは建築基準法改正により建築材料につけられることになった等級区分で、4段階ある等級の最上位で使用に制限のないものである。

## 10. 環境関連法規等の遵守及び評価の結果

適用される法規制	遵守すべき要求事項	遵守評価
・大気汚染防止法	ボイラー設置・変更・廃止届 ばい煙検査年2回	○
・ダイオキシン対策法	ボイラー燃えがら検査 年1回	○
・悪臭防止法	ボイラーのばい煙検査、地域住民からの苦情等	○
・産業廃棄物処理法	マニフェストの管理、産業廃棄物管理交付等状況報告書、契約書、許可証等	○
・浄化槽法	浄化槽管理・法定検査、定期検査、定期清掃	○
・騒音規制法	地域住民からの苦情等無し	○
・振動規制法	地域住民からの苦情等無し	○
・工業用水法	井戸水使用許可、使用量報告（年1回）	○
・フロン排出抑制法	業務用エアコン、エアドライヤーの簡易点検（3か月/1回） （第一種特定製品）	○
・消防法	指定可燃物（木材）保管届出書 火災報知器・消火器の定期検査（年1回） 危険物の適正管理	○
・グリーン購入法	合法木材（クリーンウッド法）の購入推進 FSC認証品等環境に配慮した物品を購入（コピー用紙等）	○
・愛知県環境基本条例	アイドリングストップ義務（駐車場に看板設置） 社員への指導	○

上記環境関連法規等の遵守評価結果、遵守を確認。

また、今年度も関係機関からの指摘・指導は無く、訴訟等はありませんでした。

浄化槽法について、定期検査、定期清掃、法定検査の全てを実施し書類も確認し、問題ありませんでした。

## 11. 代表者による全体の評価と見直し

2019年4月にエコアクション21に初回登録してから、すでに2年が経過しました。この間、職場の安全や製品品質を向上させるために5S活動を並行して実施したことの効果も相まって、整理整頓による社内環境の整備とごみの分別などの環境負荷低減についての自主改善活動を、全社員の参加により進める事ができるようになってきました。

また、地球環境の保全や人権尊重を目標とするSDG s の連続学習会を、若手社員が中心となり開催したことで、自社事業の社会的責任と役割について、社員一人ひとりが考える契機となりました。仕事を進める上で、業務効率の改善のみならず、社会に対してもより良い結果に結びつくような事業活動を行わなければならないという意識が、徐々にではあるが社内で醸成されつつあるように感じています。

今回の環境レポートでは、新しくSDG s に関連した当社の取り組み実績について、分かり易く掲載されております。当社の「第69期経営指針書」には、2030年に向けて達成したい目標について、17項目分けてさらに細かい設定をしています。そうした目標の達成状況についても、今後の環境レポートの中に取り込んでいくことができると考えております。

環境経営目標ですが、2021年度のCO2排出量実績については、一見すると、目標に近い水準まで削減されております。しかしながら、新型コロナの影響を受けて売上高が昨年対比で約11%減少している点を踏まえて考えると、売上高対比では逆にエネルギー消費量は増加しています。2022年度は売上高が回復傾向のため、電気使用量等についても増加することが予想され、その推移の如何によっては、再生可能エネルギーの活用などさらなる対応が必要になると考えております。

イギリスで開催されたC O P 2 6での合意目標にある通り、二酸化炭素をはじめとした温暖化ガスの削減は、今後の経済活動における世界共通の主要テーマとなりました。当社も、微力ながら地域社会とお客様の要請に応えることができるよう、「環境・品質方針」に沿った社員教育と運営を行い、日々の改善を積み重ねていきます。

アサイウッドマテリア株式会社  
代表取締役 浅井勇詞

見直し項目		変更の必要性		有の場合の指示事項等
1	環境方針	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	
2	環境目標	有 <input checked="" type="checkbox"/>	無 <input type="checkbox"/>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・ 軽油使用量が0となったため来年以降項目削除</li> <li>・ ボイラーの面積削減により一般廃棄物排出量が大幅減のため、来年から目標値変更</li> </ul>
3	環境活動計画	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	
4	その他のシステム要素	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	
5	その他（外部への対応）	有 <input type="checkbox"/>	無 <input checked="" type="checkbox"/>	